

花

もの
もの
の
あ
は
れ

春

安藤由香

磯部絢子

上村光

杉野郁

田中香里

橋本絵里奈

初瀬博輝

福村飛鳥

山根昇

2024年

3月16日(土)～24日(日)

10:00～18:00 ※最終日16:00まで ※木曜休廊

『もののはれ』とは、松阪の偉人、本居宣長が自然・人生の諸相にふれてひき出される優美・繊細・哀愁の理念であると提唱しています。

代表的な句「しき嶋のやまごゝろを人とはゞ朝日にゝほふ山ざくら花」はまさに一般論としての「大和心」を述べたのではなく、どこまでも宣長自身の心なのです。「日本人である私の心とは、朝日に照り輝く山桜の花の美しさを知る、その麗しさに感動する、そのような心です。」この歌は宣長の心の歌だったのです。

『もののはれ』を追求し、桜をこよなく愛した本居宣長の地元松阪で「花」をテーマに日本画、油彩画、水彩画など様々なジャンルの作品を展示いたします。

それぞれの作家の表現する『花』をお楽しみください。見ていただく方の心の機微に触れる作品を届けられる展示でありたいと思っております。ぜひご覧くださいますようお願い申し上げます。

ギャラリーMOS 松本恵介

山根 昇「薔薇」

ギャラリー
mos